

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にご覧ください。

- 汚れたときは、良く絞った柔らかい布でふいてください。硬い布でふいたり、強くこすると、表面に傷が付く恐れがあります。また、ガソリン、シンナー、ベンジン等の溶剤や漂白剤などは使用しないでください。
- ショートした時は必要に応じてシガーソケット内のヒューズ（15A 以上）を交換してください。

■ 保管方法

- 使用しない時はコード類を外して、ショートさせないようにして保管してください。
- 雨露、粉塵、直射日光、紫外線、高温、多湿、塩害のない、風通しの良い乾燥した場所（0℃～40℃）で保管してください。
- 直射日光に曝される車の中などの高温となる場所に本製品を放置しないでください。変形や損傷の原因になります。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお客様の自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お問い合わせいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お問い合わせいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の可否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。
○本製品の誤った使用方法によるもの ○間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
○乱暴な取り扱いによるもの ○その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの
破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様

品 番：1858004 品 名：ハイプレッシャーポンプ DC12V
定 格：DC12V /168W 最大圧力：20 psi 保証期間：1年間

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

取扱説明書

ハイプレッシャーポンプ DC12V

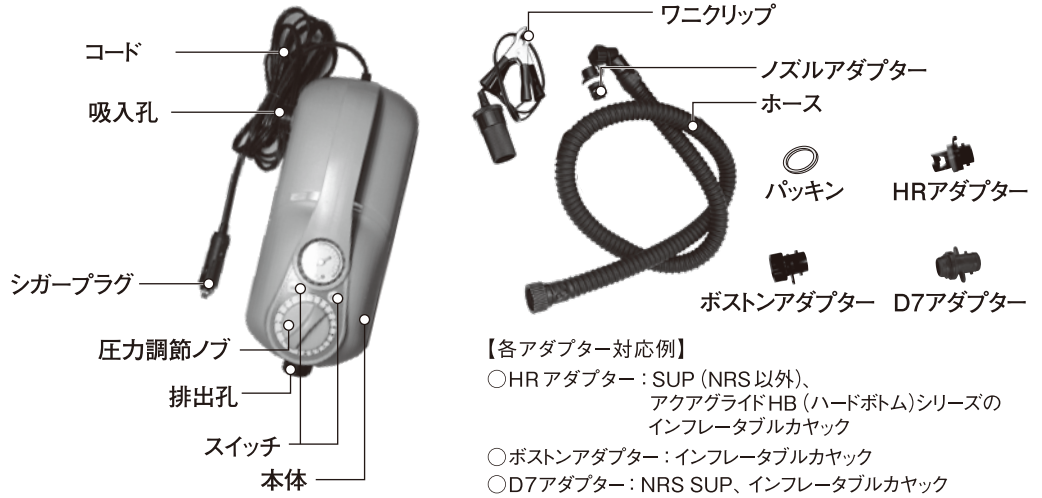
High Pressure Pump DC12V

この度はご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。
なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は、インフレーター用のスタンドアップパドルボードやボートに空気を入れるのに最適な HRバルブ、ボストンバルブ、D7バルブ用の電動ポンプです。低圧時と高圧時で注入方法が切り替わることで短時間で空気が入ります。設定された空気圧力で自動的に停止する機能付き。

■ 各部の名称



■ 安全上の注意

必ずお読みください

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 火気を近づけないでください。本製品の一部は可燃性です。破損や火災の恐れがあります。
- 水中や常に水に浸かるような場所や湿気の多い場所では使用しないでください。感電や漏電、事故の恐れがあります。
- ショートさせないでください。スパークにより引火爆発や火災の恐れがあります。

- 本製品の改造などは絶対にしないでください。感電や火災、事故の原因となります。また本来の性能が損なわれる恐れがあります。
- 高温下で使用しないでください。変形、発火、火災、故障の原因となる恐れがあります。

**警告**

場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 異常や破損した状態で使用しないでください。感電や漏電、事故の原因となる場合があります。
- バッテリーターミナルへ直接接続する際は十分に注意してください。感電や漏電などの事故の恐れがあります。
- 寝袋や布団などに覆われた状態で使用しないでください。発熱や火災の恐れがあります。
- コードを踏みつけたり痛めたりしないでください。感電、発熱、火災の恐れがあります。
- 子どもが近づかない場所に設置してください。小さなパーツの誤飲や感電など、思わぬアクシデントの原因となる恐れがあります。

**注意**

人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 本製品はインフレーターブルカヤックやエアベッド、ビーチボールなどを膨らますために開発されたものです。本来の用途以外（タイヤの空気入れ等）に使用しないでください。
- 本製品は20分以上連続して使用することはできません。長時間の使用は、モーターの過熱、ポンプが損傷する原因となります。
- 本製品は12V専用です。定格以外の電圧で使用しないでください。
- 0℃～ 40℃の範囲内で使用してください。上記以外の範囲外では使用しないでください。発熱、破裂の原因となる場合があります。
- フィールドで使用する前に必ず本製品のアダプターが対応するか確認してください。
- 夏の車中など高温になる場所に本製品を置かないでください。熱による変形や破損する恐れがあります。
- 使用中に砂、小石、その他の小片などが本製品につまらないように注意してください。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。
- 電気を切る際はすべてのスイッチをオフにしてから、プラグをソケットから抜いてください。
- 使用中は、排出孔付近のホースに触れないでください。熱くなる恐れがあります。
- ホースが折れ曲がったまま使用しないでください。故障の原因になります。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

- ☐ 本体、コード、ホース類に破損はないか

■ 使用方法

**注意**

- 本製品はDC（直流）12V専用です。
- シガーソケットに本製品を接続する際は他の機器を併用しないでください。

○ 空気を入れる時

- ①本製品のシガープラグを自動車用の12Vの直流電源（シガーソケット）に接続します。バッテリーに直接接続する場合は、ワニクリップ付きのアダプターを本製品に接続し、ワニクリップをバッテリーターミナルに接続します。
 - ・必ずワニクリップの絶縁カバーを握ってください。感電の恐れがあります。
 - ・バッテリーターミナルへの接続は必ず＋（赤）、－（黒）の順で接続してください。
- ②ホースの端をポンプ本体の「INFLATE」と刻印された排出孔に接続します。
- ③艇のバルブに合うノズルアダプターを選びホースの端に接続します。
- ④艇のバルブを開いて接続します（艇のバルブの操作は艇の取扱説明書をご覧ください）。
- ⑤圧力調節ノブをお好みの空気圧値に合わせて、スイッチ「ON」を押して空気の注入を開始します。
- ⑥低圧の空気が入りきると、自動的に高圧用ポンプに切り替わります。
 - ※高圧用ポンプはコンプレッサーを使用するため、大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- ⑦設定した圧力まで空気が入ったら、ポンプは自動的に止まります。（ポンプが止まったら艇のバルブからホースを外し、バルブのキャップを閉めてください）。
- ⑧さらに空気を入れる場合は空気圧を改めて設定し、同様に操作して空気を追加してください。
 - ※バルブと本製品のノズルアダプターが密着せずに空気が漏れる場合は、厚みの違う付属のパッキンに交換してください。
 - ※バルブの形状によっては本製品のノズルアダプターと密着せずに空気が漏れて規定の圧力まで空気が入らない場合があります。
 - ※艇やバルブの種類によっては、低圧用ポンプからすぐに高圧用ポンプに切り替わることがあります。その際は、まず艇のバルブの逆止弁を開放して空気を入れ、ある程度膨らんだところでバルブの逆止弁を閉じ、再度ノズルアダプターを取り付けて空気を入れてください。

○ 空気を抜く時

- ①ホースの端をポンプ本体の「DEFLATE」と刻印された吸入孔に接続します。
- ②空気を入れる時と同様に艇に接続します。
- ③圧力調節ノブを「1」に合わせ、スイッチをONにして、空気を抜きます。
- ④空気を抜き終わったらホースをバルブからはずし、艇のバルブのキャップを閉め、圧力調節ノブを0に合わせてください。
 - ※ポストンバルブなどの弁を解放できないバルブの場合は、本製品を使用して空気を抜けません。
 - ※20分以上使用する場合は、一度使用を停止して10分以上本製品を冷ましてください。
 - ※艇のサイズが大きかったり空気圧が高い場合は規定圧力になるまで時間がかかります。
 - ※ポンプを使用中に止めたい時は、「OFF」のスイッチを押し、再始動する時は「ON」のスイッチを押してください。（プラグをシガーソケットから抜く際やバッテリーターミナルからワニクリップを外す際は、必ずスイッチをOFFにしてからおこなってください。）
 - ※ポンプを使用していない時は、圧力調節ノブを常に「0」にしてください。
 - ※車に接続する際はエンジンが始動している状態で使用してください。バッテリー上がりの恐れがあります。
 - ※バッテリーの電圧が下がると正常に動作しない場合があります。
 - ※故障などの万一のことを考えてハンドポンプを用意していただくことをお勧めします。

**注意**

- 必ず艇に接続してからポンプを始動させてください。
- 20分以上使用する場合は、一度使用を停止して10分以上本製品を冷ましてください。
- ポンプが作動している間は、本製品から離れないでください。
- 作動中はホースが熱くなります。コードや手を触れないようにしてください。
- 空気を入れる艇で定められた圧力以上に空気を入れないでください。